

学校経営の方針

「小さな学校で大きな感動を」

- 感動と笑顔があるふれる学校づくり
- 自己実現を図る一人一人が主役の学校づくり

- 家庭や地域、ふるさとのつながりや絆を深める学校づくり

- 安全・安心で信頼される学校づくり
- 新たな役割と期待に応える学校づくり

教師像

- 子どもと共に感動し教育愛豊かな教師
- 指導力・専門性に誇れ、楽しい学びをつくれる教師

- 協働し、研鑽に励む教師

- 変化に対応し、挑戦する教師集団

子どもの願い

- 「できた」「わかった」「頑張ってたよかった」実感大切にしたい。
- 友達や先生と感動を共有したい。
- ふるさとに誇りをもち地域づくりに貢献したい。

保護者の願い

- 一人一人に目が届く環境の中で確かな学力を身につけてほしい。
- 思いやりの気持ちや規範意識を育ててほしい。
- 卒業後も集団生活に適応できるようにしてほしい。
- 故郷を大切に、自ら未来を切り開いていける想像力・創造力を持った子に育ってほしい。

教育目標

なみえを愛し

みらいに向かって

えがおで生きる

子ども

相双教育アピール (H31)

社会につなぎ 未来を切り拓く 相双の教育

- 知: つなぎ、つながる 活きる学び
- 徳: 考え 気付き 高め合う心
- 体: 笑顔をつくる 健やかな心身
- 特別支援教育: みんなでつなぐ 多様な学び
- キャリア教育: 社会につなぐ 未来への学び

育みたい資質能力

- 想像力 ○探究力 ○情報活用能力 ○主体性・自立
- コミュニケーション力・言語力 ○協働・共生

重点目標

なりたい自分に向かって たのしく学ぶ子ども

少人数の特性を生かした確かな学力の定着

1 児童の到達目標

- めざすめあてに向かって、情報を活用したり体験したりして、わかる・できる自分を発見する。
- 自分を見つめ、自分の思いや考えを、得意な方法を選んだり、友達と協力したりして表現する。
- 自分の課題をとらえ、めあてをもち計画を立て、家庭学習や読書に取り組む。

2 教師の具体的取組み

- 個別の指導計画作りをとおしたオーダーメイドの学びで、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善を行う。
- 学習において、言葉や図・表でまとめたり、自分の得意なこと考えを表現したりできるように指導する。
- 「学力補充の時間」を活用し、家庭学習に対する見直しをもたせるとともに、家庭との連携を図り、家庭学習や読書のめあてを達成した姿を褒めさせる指導をする。

体験活動を生かした豊かな心の育成

1 児童の到達目標

- 希望と勇気を持ち、積極的に一歩踏み出し、気付き、考え、実行する自分をめざす。
- 自他のよさやがんばりに気付き、互いに認め合い、励まし合い助け合う。

2 教師の具体的取組み

- 「生命の尊重」「家族愛」「郷土を愛する心」等指導内容の重点化を図り、体験活動を生かした道徳の時間を展開する。
- 各教科等の関連を図った道徳教育を展開する。
- 交流活動をとおして、互いのよさ認め合い励まし合う場を設定する。

たくましく生きる健やかな心と体の育成

1 児童の到達目標

- めざす自分の姿に向かって、互いに協力し、最後まで向上しかわれる自分を見つける。
- 心身ともに健康な体をめざし、進んで規則正しい生活をする。

2 教師の具体的取組み

- 体力テストの結果をふまえ、自ら立てた個人の目標達成に向け、個に応じた支援を行う。
- 生活習慣の改善を図るため、児童の生活状況の実態を把握し、個別に継続指導をする。

ふるさとなみえ科 (ふるさと創造学)

【児童の到達目標】

- 互いの思いや考えを伝え合いながら、他者と協働して課題を解決する。
- ふるさとの人々との交流を通して学んだことを整理し、新聞などで発信する。
- 【教師の具体的取組み】
- 地域の「ひと・もの・こと」との出会いの仕方や、体験活動、協働して課題を解決する例の探究を工夫する。
- 学年の系統性・各教科とのつながりを大切にアクティブラーニングによる探求的な学習を充実させる。

【ふるさとなみえ科の目標】

自ら課題を見付け、主体的・協働的に探究的活動に取り組み、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、学び方やものの考え方を身に付けさせる。